



令和2年1月22日

地域包括ケアシステム啓発講演会 「元気な今だから始められる～サヨナラの準備～」

少子・高齢化が進展する中、市では、医療・保健・介護の関係機関や地域と連携し「地域包括ケアシステム」の推進に取り組んでいます。

近年は、人生の最終段階を、自分らしく最期まで生き、より良い最期を迎えるために、元気なうちから、自分が望んでいること、大切にしていること、どこでどのような医療・ケアを望むかを信頼する人たちと話し合い、共有する「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP〔愛称：人生会議〕)の普及が重要となってきています。

今回は、医療・保健・福祉関係者と市民の皆さんが、この「アドバンス・ケア・プランニング」について共通の理解を持ち、誰もが住みやすい地域を考える機会とするため、講演会を開催します。

地域包括ケアシステム啓発講演会



と き 1月26日(日) 10時～12時(開場は9時30分)

と ころ ハートプラザみその 多目的ホール

講 師 中村 伸一 さん(福井県おおい町 国民健康保険名田庄診療所 所長)

定 員 200人(事前申し込みは不要)

主 催 一般社団法人 伊勢地区医師会、伊勢市、玉城町、度会町、南伊勢町、伊勢地区在宅医療・介護連携支援センターつながり

その他 手話通訳あります

アドバンス・ケア・プランニング〔ACP〕(愛称：人生会議)とは…



誰でもが迎える人生の最終段階における医療ケアについて、本人が家族などや医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。